



2011・8・24

事務局 岡谷市長地片町町2-5-5
TEL.FAX 0266・28・9230

ニュース No.48

鎮魂の八月が過ぎていく。「あやまちをくり返しません」と誓ったはずなのに、再び過ちをくり返してしまった——という痛切な思いがある。ではその過ちとはなにか。

戦時中真剣に戦意高揚の国策宣伝の仕事をした「暮らしの手帳」の花森安治は、長く黙して語らなかったが、26年たって「言い訳をさせてもらうなら、当時は何も知らなかった。だまされた。しかしそんなことで免罪されるとは思わない。これからは絶対だまされない。だまされない人たちをふやしていく」と語った。「日本は不滅」という神国日本神話を信じ、大本営発表に鼓舞されて、遂に破滅に至った私たち日本国民は、経済大国主義と原発安全神話を信じて、現在の事態に立ち至っている。

過ちをくり返さぬためには、根本からの徹底的な検証と、それまでとは全く違う新しい筋道の構築が必要だったのに、戦犯が総理となり、持つはずのない軍隊はますます強力となり、解体された財閥はより強大となって復活しマスコミや学会、宗教界にも戦争協力への反省はあまりなかった。今なすべきは、原発問題を根本に戻ってきちんと検証すること。衆知を集めて今後の新しい道筋を明確にたてること。ここで再び事態をうやむやのうちに収束し「ガンバレ日本」キャンペーンの中に埋没させてしまってはならないと思う。

活動行事の報告

7月27日(水)～29日国連軍縮会議 In 松本

いろいろなイベントや集会などが行われ、市民参加がいままで一番盛り上がったこと、また菅谷市長が明確に脱原発を表明したことの二点が、参会者に大きく評価されたようです。私たち「岡谷九条の会」は「平和を考える市民の広場」の構成団体として、下記二つのイベントに参加しました。

① 27日 まつもとピースパレード 夕暮れ迫る松本のメインストリートを、ピエロ達や打楽器もまじり、にぎやかに行進した。進むほどに参加者がふえ、最終的には500人を越えたようである。岡谷勢は十数名が、旗やプラカードを持ち、行列の先頭を歩きました。(新聞記事別紙)

② 29日 国際草の根軍縮会議 In 松本 議論が白熱し盛り上がった。

参加者からの一言

酔っ払い運転手は、事故の責任を取らねばなりません。「7万人の福島避難民に国会は何をしているのだ」と児玉龍彦先生が議会で怒っていました。この事故の責任者たちはどうしているのでしょうか。最近のメディアに不足しているのは「責任追求の態度」ではないでしょうか。

塩原俊 (諏訪市湖畔2)

8月6日(原爆記念日)核兵器廃絶岡谷平和の集い

アオギリ二世公園で、例年通り爽やかな朝を迎えた。太鼓の小学生は小井川小しか都合がつかなかったが、大いに盛り上がった。(新聞記事別紙)

8月15日(終戦記念日)岡谷駅前街頭署名

例年通り、花火大会の人出をねらって署名をよびかけ、チラシを配った。(チラシは同封)人通りが少なかったが、全部で165筆が集まった。署名は例年の「憲法九条を守る県民過半数署名」「核兵器全面禁止のアピール」のほか、本年は脱原発の2種類「脱原発実現」「原発からの撤退」を加えた。

署名活動に参加して 山崎秀訓 (諏訪市小和田)

一市民として「脱原発」において、できることはないか?と考えていたときに、岡谷九条の会が終戦記念日に街頭署名をすることを知り、はじめて街頭署名活動に参加させていただきました。今年は人出がかなりすくないそうですが、1時間半ばかりの間に46人の方の署名をいただくことができました。しかし、こちらの呼びかけに全く興味を示さない若い人の多いことに、びっくりもし、残念にも思いました。他の呼びかけ方法も考えるべきか?

今後の予定

9月9日(金)9999協賛「九条に乾杯」イベント

一昨年好評だった二期会の羽山晃正・弘子夫妻のコンサートです。林淳子と「いちいの木合唱団」にもご期待を。19:00~ パークホテル 1,000円

9月19日(敬老の日)1,000万人アクション協賛「福島のお母さんのお話を聞く会」

午後7時~ 下諏訪総合文化センター 同時上映映画

「子どもを襲う放射能の不安」(30分) 参加費 500円

◎ 8月28日(日)映画上映「お菓子放浪記」お菓子が紡ぐ希望の物語
諏訪市駅前市民会館 ① 10:30~ ② 13:30~ 入場料 1,200円

◎ 岡谷市議会は6月23日「福島第一原発の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発普及等に関する意見書」を全会一致で採択しました。画期的なことです。新議会の良識が示されたといえましょう。